



平成 21 年 10 月 28 日

各 位

会社名 株式会社 茨城銀行
 代表者名 取締役頭取 溝田 泰夫
 問合せ先 総合企画部長 野口 稔夫
 (TEL. 029-231-3174)

平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想の修正に関するお知らせ

平成 21 年 5 月 15 日の平成 21 年 3 月期決算発表時に公表いたしました平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）の単体及び連結の業績予想について、以下のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）の業績予想の修正

(1) 単体業績予想

(単位：百万円、%)

	経常収益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	9,600	440	470
今回修正予想 (B)	10,300	1,400	1,400
増減額 (B-A)	700	960	930
増減率	7.2%	218.1%	197.8%
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	10,808	△ 173	△ 555

※上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績はこれらの予想値と異なる結果となる可能性があります。

(2) 連結業績予想

(単位：百万円、%)

	経常収益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	9,700	450	470
今回修正予想 (B)	10,400	1,500	1,500
増減額 (B-A)	700	1,050	1,030
増減率	7.2%	233.3%	219.1%
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	10,382	65	△ 307

※上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績はこれらの予想値と異なる結果となる可能性があります。

2. 修正の理由

(1) 単体業績予想の修正理由

平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間(中間期)の業績は、金融市場の回復に伴い有価証券関係損益が増加する見込みとなったこと、預金金利の低下により資金調達コストが減少する見込みとなったこと、物件費を中心に経費削減に努めたことにより営業経費が減少する見込みとなったことなどから、銀行本業の収益力を示すコア業務純益が順調に推移し当初計画を 40%以上上回る見込みです。また、当行の業績に大きな影響を及ぼすような企業倒産等がなかったことから与信関連費用が当初計画を下回る見込みです。

こうしたことから、平成 21 年 3 月期決算発表時に公表しました中間期の業績予想を、経常収益 103 億円、経常利益 14 億円、中間純利益 14 億円にそれぞれ上方修正いたします。

(2) 連結業績予想の修正理由

連結業績についても、上記の銀行単体の業績予想の修正を受け、経常収益 104 億円、経常利益 15 億円、中間純利益 15 億円にそれぞれ上方修正いたします。

(3) 平成 22 年 3 月期通期の業績予想について

平成 22 年 3 月期の通期の業績予想につきましては、平成 22 年 3 月 1 日に株式会社関東つくば銀行との合併を予定していることから、合併後の予想値が確定次第お知らせいたします。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

総合企画部 主計広報グループ

横山、田村

TEL : 029-231-3174 (直通)